TAKAGI PLANNING
TORANOSUKE TAKAGI RACING PROJECT

EXPRIT TAKAGI RACING

第５戦 / 第６戦　茂原ツインサーキット　全日本カート選手権参戦報告書

■開催日：７月９～10日　■天候：９日：雨／10日：晴れ ■路面状況：９日：ウェット／10日：ドライ　■参加台数：25台

宮田莉朋、茂原大会完全制覇！ランキングトップで後半戦へ!!

オートバックス全日本カート選手権 KF シリーズの第５戦・第６戦は７月９～10日に千葉県・茂原ツインサーキットで開催された。

前回瑞浪大会からわずか３週間ほどのインターバルで開催された今大会。シリーズ戦も、今回で折り返しとなり、この後には再び２ヶ月に及ぶブレイクが待っているため、シリーズ制覇に向け勢いをつけるためにも、負けられないレースとなる。房総半島の中央付近に位置する茂原ツインサーキットは、普段は４輪のスポーツ走行などを主とする大型コース。シリーズ随一のアップダウンをもつサーキットで、高速コーナーも多くタイヤやエンジンに掛かる負担が最も厳しいコースと言われる。毎年猛暑に襲われることでも知られるが、今年は土曜日が終日雨となり、当初予定の第５戦予選ヒートは天候の回復待ちもあり、日曜午前中に延期された。なお、日曜日は茂原らしい夏空となり、30度を超える猛暑日となった。

Q.P.　雨のタイムアタックで朝日４番手、宮田５番手と上位を確保

前日までの猛暑から一転、気温も20度台前半と肌寒い気候の中行われたタイムトライアル。前回瑞浪で完全優勝を飾った朝日ターボが、意地の４番手を獲得。さらに今回好調の宮田莉朋も総合５番手と好位置につける。また澤田真治もうまくまとめてタイムを出し７番手、神晴也も９番手と全員がトップ10入りを果たした。

第５戦　レースの流れを支配し宮田莉朋が１年半振りの優勝！

第５戦予選ヒートは、土曜日のTTに続けて行われる予定だったが、予想外に降雨が強まったため他クラスのスケジュールが遅れ、日没も近づいたことから急遽日曜日午前中へと変更された。

日曜日は朝から快晴となり、まさに茂原大会と呼ぶにふさわしい暑さ。その中で行われた予選では朝日がオープニングラップにトップを奪うものの、その後ペースが上がらず後退。変わって宮田がトップとなり、後半は独走へ持ち込んでチェッカー。決勝のPPを獲得した。澤田は３位となったものの、朝日、神は他車とのアクシデントもあり、神19位、朝日20位に終わった。

26周の決勝ヒート。宮田は序盤こそ２番手につけ周回を重ねるものの、自身のペースが上がってきた10周以降にあっさりとトップを奪うと、その後は周回ごとに後続を引き離していく。最後まで付け入るすきを与えなかった宮田が2014年最終戦以来となる優勝を飾った。朝日は５位、アクシデントに遭った澤田は13位、神も19位に終わった。

第６戦　宮田が完全優勝でランキングトップに浮上

続いて行われた第６戦予選ヒート。ここでも宮田が素晴らしい走りを見せる。序盤こ他車とのトップバトルとなるものの、10周目以降は安全圏までリードを広げ周回。そのまま逃げ切って２戦連続で予選を制する。この予選でも朝日が粘り４位、澤田も７位、神も11位でフィニッシュと決勝へ期待を抱かせた。

決勝では序盤は先行を許し３番手で周回を重ねるものの、５周目すぎからペースを上げた宮田が次々と前車をパス。10周目にはトップに浮上する。そのままリードを広げ、第５戦同様に独走となるかと思われたが、予選を走れずタイヤを温存していたDL勢の角田裕毅がハイペースでリードを削り、ついには20周目にトップとなる。それでも宮田はしっかりと角田をマーク。テールtoノーズのままプレッシャーを掛けて周回を重ねていく。ラスト３周を切った24周目の最終コーナーでインに飛び込んだ宮田がトップに浮上。しかし、角田も負けじと最終ラップの１コーナーで逆転。その後は要所でインを締めていく。それでも宮田は逆転ポイントを最終コーナーに絞り、立ち上がり重視のラインで角田との間合いを詰めると、狙い通りに最後の最終コーナーで僅かなスペースに飛び込み逆転。茂原大会完全制覇を飾った。これで宮田がランキングトップでシリーズを折り返すこととなり、２年ぶりの戴冠が視野に入ってきた。

DUNLOP　MOTUL　TOYOTA　B-Max Racing team
ACHIEVEMENT　TONY KART JAPAN　USAG　X.A.M　EXPRIT RACING KART　MASUDA POWER

Driver's Voice

2 澤田真治

Q.P.:45.916(7 位) 第 5 戦：予選 /3 位・決勝 /13 位　第 6 戦：予選 /7 位・決勝 /10 位

本当にうまくいかない、去年と比べると持っているタイムが結果につながらないレースが続いています。レースの流れというか、何かがあるんだと思います。逆にそれを掴めば、いい結果は残せると思います。その何かが足りていないからカートでもＦ４でも勝てないんだと思います。それは、ドライビングはもちろんですが、マシンのセッティングであったりトラブルが出るといったことも含め、流れから来ていると思いますので、何かを変えないといけないと考えています。

SUGO までには２回テストがありますし、その２回で自分の走りをどれだけ改善できるか、もちろん体力面のトレーニングも夏の間にもっとしていきます。SUGO はそういった部分で周囲に勝っている状態でレースウィークに臨みたいです。そこにマシンがうまくハマれば、もちろん勝てるでしょうし、タイヤの開発でも僕も意見を話していって良いタイヤができればと思っています。一つだけを頑張るというより、総合的に今は足りていないことが多いと思うので、それを改善できるように次のレースまでにきっかけを見つけないといけないと思っています。

3 宮田莉朋

Q.P.:45.771(5 位) 第 5 戦：予選 /1 位・決勝 /1 位　第 6 戦：予選 /1 位・決勝 /1 位

自分も茂原は苦手ではなかく、これまではシャシーの差でタイム差が出ていたところ、今回はチームがいいものを準備してくれました。あとは僕が結果で返せるようにしたいと思っていました。練習からトップタイムを出せて、土曜日は雨になってしまいましたが、TT もいつもよりも前で終えることができたので、あとはドライでユーズドでの自分の速さを発揮すれば勝てると思っていました。ずっと自信を持てたレースウィークを過ごせたかなと思っています。

瑞浪と比べると路面温度の急激な変化などはなかったので車もノーマルの状態のまま走れました。そのため、車のセットにも悩まずにヒートを進めることができました。

後半のペースは練習から速かったので、前半で当てられずに自分のペースを乱さずに走れば大丈夫だと思っていたので、前に行こうというよりは周囲の状況を見ながら、と思っていました。第５戦、第６戦ともにポールからスタートできたことが大きいと思います。

SUGO はこれまで２位と４位以外取ったことがないので１位だけが取りたいです。2013 年以来の DL 優勝をプレゼントしたいと思っています。

20 神 晴也

Q.P.:45.918(8 位)
第 5 戦：予選 /19 位・決勝 /19 位
第 6 戦：予選 /11 位・決勝 /13 位

今回のレースは練習はそこそこ調子が良かったのですが、レース前日くらいから調子が悪くなり、レースの流れも掴めず、TT は雨が降って少し調子良くなったんですが、予選が日曜日になってしまい、ドライの調子が悪い感じに戻ってしまい、いい結果は残せなかったです。

他のカートに押された時に耐える力など、対応の仕方もまだ全然うまくなく、次の SUGO へ向けては後ろから来るということもちゃんと考えながら、先のことを見ながら走らなければダメだなと感じました。

SUGO は頑張っていきたいと思います。

4 朝日ターボ

Q.P.:45.691(4 位)
第 5 戦：予選 /20 位・決勝 /5 位
第 6 戦：予選 /4 位・決勝 /6 位

土曜日は雨でうまく４番のポジションが取れたんですが、ドライで改善しきれなかった部分が、週末に全部出た感じです。第５戦の予選では、序盤はよくてトップまで上がれたんですが、そこからペースが上がらず結果的にはレースをさせてもらえなかったのと、決勝はタイヤが残っていても上位には上がれませんでした。

SUGO へは新シャシー投入の予定もあります。瑞浪のようにうまくいけば最高ですが、そうでなくとも何が何でもという気持ちで臨みたいです。SUGO は勝てていないコースの一つなので、絶対に勝ちたいという気持ちが本当に強いです。

DUNLOP MOTUL TOYOTA B-Max Racing team
ACHIEVEMENT TONY KART JAPAN USAG X.A.M EXPRIT RACING KART MASUDA POWER

Rd.5/Rd.6 MOBARA TWIN CIRCUIT　9-10 JUL. 2016

高木政巳代表

こんなレースはそうあるわけではない。宮田は少ないチャンスを、自信を持って自分のシナリオ通りに１００％遂行していた。素晴らしかった。レースはすべてが咬み合わなければ勝つことができないが、今回は全てにパーフェクトで４ヒートすべてを制することができた。他のメンバーもなかなかその域に達するのは難しいが、、何か一つ歯車が合ってくればこういったレースができるということを証明してくれたので、他のメンバーにもこれを見習ってほしい。勝つ条件は皆平等なので、なにかきっかけに気づいてもらえればいい。これでシーズンも半分が過ぎたので、残り半分頑張ってほしい。

今回はチームとしても、すべての面で進歩できたレースだった。こういったことをずっと続けていきたい。また次の SUGO へいい雰囲気で迎えると思う。今回は本当に猛暑や雨などいろいろな条件を経験でき、全ての条件の中で走れ、宮田は練習、テストなどどのヒートもパーフェクトにこなしていたのが自信につながったのだと思う。他のメンバーにもそれを見習ってもらい、残りシーズンも頑張ります。

RESULTS

第５戦

Pos	No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.		Q.H.
1	3	宮田莉朋	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.711	5	1
2	34	角田裕毅	Drago CORSE	DRAGO	TM	DL	45.831	6	DNS
3	11	名取鉄平	Team BirelART	BirelART	TM	BS	45.953	9	5
4	24	大草りき	スクーデリア LCT	TONYKART	TM	BS	46.446	16	6
5	4	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	45.691	4	20
6	19	渡邉俊輝	SUCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	DL	46.028	10	23
7	25	佐藤巧望	INTREPID JAPAN CORSE	INTREPID	TM	BS	46.562	18	22
8	30	太田格之進	TOYOTA YAMAHA RT	SWF	IAME	BS	46.173	15	30
9	14	中森丈晴	ムサシノ KC	TONYKART	TM	BS	46.534	17	9
10	87	佐々木大河	WOLF&TKM	WILDKART	IAME	BS	47.707	25	12
13	2	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.916	7	2
19	20	神　晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.918	8	19

第６戦

Pos	No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.		Q.H.
1	3	宮田莉朋	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.711	5	1
2	34	角田裕毅	Drago CORSE	DRAGO	TM	DL	45.831	6	DNS
3	9	高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	45.688	3	5
4	11	名取鉄平	Team BirelART	BirelART	TM	BS	45.953	9	3
5	18	菅波冬悟	SUCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	DL	45.388	1	2
6	4	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL	45.691	4	4
7	30	太田格之進	TOYOTA YAMAHA RT	SWF	IAME	BS	46.173	15	8
8	24	大草りき	スクーデリア LCT	TONYKART	TM	BS	46.446	16	6
9	22	小暮ひかる	crocpromotion	CROCPROMOTION	TM	DL	46.084	11	DNS
10	2	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.916	7	7
13	20	神　晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL	45.918	8	11

ポイントランキング

Pos.	Driver		累計	有効
1	宮田莉朋	EXPRITO TAKAGI RACING	151	151
2	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	147	147
3	角田裕毅	DRAGO CORSE	143	143
4	名取鉄平	Team BirelART	123	123
5	高橋悠之	TONYKART R.T.J.	103	103
6	菅波冬悟	SUCCEED SPORTS Jr.	99	99
7	大草りき	スクーデリア LCT	77	77
8	三宅淳詞	TOYOTA YAMAHA RT	68	68
9	澤田真治	EXPRITO TAKAGI RACING	66	66
10	三村壮太郎	crocpromotion	55	55
19	神　晴也	EXPRITO TAKAGI RACING	23	23

EXPRIT TAKAGI RACING

代表：高木政巳
監督：高木虎之介
ドライバー：#2 澤田真治 #3 宮田莉朋　#20 神晴也
使用マテリアル
CHASSIS：EXPRIT　ENGINE：TM　TYRE：DUNLOP
※なお今季も MASUDA RACING PROJECT との連携を継続し、同チームへ EXPRIT シャシーを供給し、ともにダンロップタイヤの開発を担います。

MASUDA RACING PROJECT

代表・監督：増田二三四
ドライバー：#4 朝日ターボ
使用マテリアル
CHASSIS：EXPRIT
ENGINE：TM
TYRE：DUNLOP

TAKAGI PLANNING
元F1 & IRLドライバーの高木虎之介が代表を務め、カートショップならびにレーシングカートチームの運営、若手ドライバーの育成、ジュニアカートスクールなど普及活動も展開している。
〒422-8046　静岡県静岡市駿河中島 902

DUNLOP　MOTUL　TOYOTA　B-Max Racing team
ACHIEVEMENT　TONY KART JAPAN　USAG　X.A.M　EXPRIT RACING KART　MASUDA POWER